

MEXT (科研費)

1. バイオマスリファイナリーにおける新たな固体触媒プロセスの提示 (代表: 恩田歩武), 基盤研究(B), 24K01257, 2024~2027, 6,900千円
2. バイオマスを高選択的にギ酸へと変換するシステム構築に向けた新規光触媒の開発 (代表: 今村和也) 基盤研究 C, 23K04497, 2023年度~, 100千円 (分担)

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. IoPとAIの効率的学習とPDCAサイクルによる営農支援システムの自立的進化 (代表: 受田浩之) 内閣府地方大学・地域産業創生交付金, 平成30年度~40年度, 2024年度: 2,940千円 (分担; 直接経費)
2. 革新的多元素ナノ合金触媒・反応場活用による省エネ地域資源循環を実現する技術開発 (代表: 北川宏) 地域資源循環を通じた脱炭素化に向けた革新的触媒技術の開発・実証事業, 令和4年度~令和11年度, 2024年度: 7,267千円 (分担; 直接経費)
3. お腹の健康を保つ機能性海藻素材による健康食品の開発 (代表: 難波卓司), JST 大学発新産業創出基金事業可能性検証, 2024年度: 300千円 (分担; 直接経費)
4. しまんと海藻エコイノベーション共創拠点 (代表: 平岡雅規), JST, COI-NEXT, 1,300千円 (分担; 直接経費).

[Joint Research (共同研究)]

1. 固体触媒を用いた乳酸からのアクリル酸合成 (代表: 恩田歩武), (株)サンギ, 500千円 (間接経費を含む)
2. 大型海藻の培養を起点とした下水処理場のエネルギー・バイオリファイナリー拠点化 (代表: 平岡雅規), (株)フソウ, 京都大学, 令和6年度, 490千円 (分担: 直接経費)
3. 稲わらの水熱処理および水蒸気処理がメタン発酵に及ぼす影響 (代表: 恩田歩武), (株)クボタ, 1,200千円 (間接経費を含む)

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 新領域「ファイコミクス」による藻類の新価値創造 (代表: 長崎慶三) 令和6年度, 680千円 (分担).

Journal Publications (論文)

1. Oto, T., Ikeuchi, K., Tanaka, K., Onda, A., Imamura, K., Photocatalytic hydrogenation of acetophenone over Pd-TiO₂ using saccharides as hydrogen sources, Catal. Sci. Technol., 14, 2139-2145 (2024).
2. Tsubaki, S., Senda, K., Onda, A., Fujii, S., Efficient Cellobiose Hydrolysis over a Sulfonated Carbon Catalyst in a Spatially Separated Microwave Electric- and Magnetic-Field Flow Reactor, ACS Sustainable Chem. Eng., 12, 52, 18657-18665 (2024).

Patents (特許)

1. 難波卓司, 恩田歩武, 臓器障害改善剤, 国際出願 PCT/JP2024/020109

2. 難波卓司, 平岡雅規, 恩田歩武, 多糖の製造方法, 特願 2024-148118.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 田中滉将, 恩田歩武, 今村和也, アルコールを水素源とするニトロベンゼンからアニリンへの光触媒的水素化反応, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29).
2. 松本佳澄, 今井咲友, 恩田歩武, 今村和也, 食用色素を使った色素増感型光触媒の開発, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29).
3. 田中滉将, 大音貴裕, 恩田歩武, 今村和也, グルコースからギ酸メチルへの光触媒的変換反応, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/2).
4. 竹下菜々美, 澁谷信司, 萩原礼奈, 恩田さゆり, 今村和也, 恩田歩武, エタノール溶媒を用いたゼオライト触媒によるセルロースからフルフラール類への選択的変換, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/2). [優秀ポスター賞]
5. 國定健人, 清水優花, 平岡雅規, 今村和也, 恩田歩武, 固体酸触媒を用いた海藻多糖ウルバンの低分子化, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/2).
6. 深田幹樹, 堀江成樹, 今村和也, 小河脩平, 恩田歩武, 白金系触媒を用いたフルフラールからの C3 炭化水素合成, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/2).
7. 松本佳澄, 今井咲友, 藤代史, 恩田歩武, 今村和也, 食用色素を使った色素増感型光触媒の熱重量分析, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/2).
8. 今村和也, 大音貴裕, 池内一真, 田中滉将, 恩田歩武, グルコースを水素源として使用したアセトフェノンから 1-フェニルエタノールへの光触媒的水素化反応, 2024 年光化学協会, 福岡 (2024/9/3-5).
9. 野中結羽, 新納健司, 恩田歩武, 今村和也, 芳香族ニトロ化合物光触媒における置換基の影響, 2024 年光化学協会, 福岡 (2024/9/3-5).
10. 田中滉将, 秦滉星, 田中淳皓, 古南博, 恩田歩武, 今村和也, 酸化セリウム光触媒によるニトロソベンゼンからアゾキシベンゼンへの可視光変換反応, 第 134 回触媒討論会, 名古屋 (2024/9/18-20).
11. 堀江成樹, 深田幹樹, 恩田さゆり, 岩佐侑奈, 今村和也, 大淵ゆきの, 関根泰, 小河脩平, 恩田歩武, Pt 担持触媒による水熱条件下でのフルフラールから C3 炭化水素への直接変換, 第 134 回触媒討論会, 名古屋 (2024/9/18-20).
12. 竹下菜々美, 澁谷信司, 萩原礼奈, 恩田さゆり, 今村和也, 恩田歩武, 様々なゼオライト触媒を用いたセルロースからフルフラール類への選択的変換, 第 134 回触媒討論会, 名古屋 (2024/9/18-20) [優秀ポスター賞]
13. 丸山琴未, 原愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, バナジン酸ビスマス光触媒によるカルボニル基の還元反応, 2024 年日本化学会中四国支部大会, 岡山 (2024/11/16-17).
14. 丸山琴未, 原愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, 金属担持バナジン酸ビスマスの熱・光触媒作用によるニトロベンゼンの還元反応, 2024 年日本化学会中四国支部大会, 岡山 (2024/11/16-17).
15. 松本佳澄, 今井咲友, 藤代史, 恩田歩武, 今村和也, ローダミン B/ZrO₂ を可視光応答型光触媒として使用したアニリン酸化反応, 第 43 回固体・表面光化学討論会, 徳島 (2024/11/21-22).
16. 丸山琴未, 原愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, Pt/BiVO₄ の熱・光触媒作用による 2-プロパ

- ノールからニトロベンゼンへの水素 移動反応, 第 43 回固体・表面光化学討論会, 徳島 (2024/11/21-22)
17. 竹下菜々美, 澁谷信司, 萩原礼奈, 恩田さゆり, 今村和也, 恩田歩武, エタノール溶媒を用いたセルロースからフルフラール類への選択的変換におけるゼオライト触媒の影響, 第 54 回石油・石油化学討論会, 広島 (2024/11/28-29)
18. 細川実紘, 大淵ゆきの, 小河脩平, 恩田歩武, 浜口達弥, 齋木貴史, 関根泰, Pt 担持耐水性レイス酸・塩基触媒を用いたセルロースから C3・C4 炭化水素への転換, 第 54 回石油・石油化学討論会, 広島 (2024/11/28-29)

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 触媒学会バイオマス研究部会 [世話人]
2. 触媒学会酸塩基研究部会 [世話人]
3. 触媒学会触媒道場 [世話人(幹事)]
4. 触媒学会西日本支部幹事 [委員]
5. 触媒学会科学研究発表会[世話人(幹事)]

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 土佐さがけプログラム GS コース副コース長
2. 土佐さがけプログラム運営委員会 [委員]
3. 複合領域科学部門 地域国際連携 [世話人]
4. 複合領域科学部門 「持続可能社会における化学, 環境, 医療, エレクトロニクス分野に貢献する材料の創製」プロジェクト[世話人]

MEXT (科研費)

1. 細菌特異的に感染するバクテリオファージを利用した新しい細菌検出技術の創出(代表:渡辺 茂)基盤研究(C), 令和6年度~令和8年度, 1,050千円
2. ファージ吸着分子結合マイクロ粒子を利用した抗 *C. difficile* 治療法の創出(分担:渡辺 茂)基盤研究(C), 令和4年度~令和6年度, 100千円

Journal Publications (論文)

1. Ruto, A.; Seki, H.; Osaki, K.; Kaneno, D.; Hadano, S.; Watanabe, S.; Niko, Y.* Synthesis of 1,3-Dibromopyrene as Precursor of 1-,3-,6-, and 8-Substituted Long-Axially Symmetric Pyrene Derivatives, *Chem. Eur. J.* **2024**, *30*, e202401152.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Hitomi Seki, Shinkuro Yamamoto, Keiji Inoue, Shingo Hadano, Shigeru Watanabe, Yosuke Niko. Development of pyrene-based solvatochromic fluorescent dyes for studying physical properties of lipid membranes in extracellular vesicles. The 31st International Conference on Photochemistry(ICP2023), 2023/07/23-2023/07/28, Sapporo Park Hotel, Sapporo, Japan.

Domestic:

1. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, スルホ基を有する蛍光ソルバトクロミックピレン誘導体の機能一構造に関する研究, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
2. 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, カチオン性蛍光色素の低褪色化に向けた三重項クエンチャー含有型対アニオンの開発, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
3. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, 皮膚組織の膜秩序性に応答する新規 D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
4. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型両親媒性ブロックポリマーの液晶ブロックのランダム共重合の検討, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
5. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 高分子ミセルの構造と光褪色挙動の関係調査, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
6. 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, Triplet Quencher-Tethered Counter-anions for Improving Photostability of Cationic Fluorescent Dyes-loaded Nanoparticles, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
7. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎

- 悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, Development of New Water-Soluble Pyrene-Based Push-Pull Dyes for In Vivo Skin Tissue Imaging Applications, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
8. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 色素の光褪色抑制に向けた酸素バリア性高分子ミセルの開発, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/3-5), ポスター発表
9. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, 生体皮膚組織深部の膜秩序性を可視化する D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 第 34 回基礎有機化学討論会, 札幌 (2024/9/11), ポスター発表
10. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型ランダム共重合体を導入した両親媒性ブロック共重合体の合成, 第 73 回高分子討論会, 新潟 (2024/9/25-27), ポスター発表
11. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 両親媒性ブロック共重合体薄膜における側鎖液晶型ランダム共重合体ブロックの効果, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
12. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 酸素バリア層を有する高分子ミセルの作製と機能評価, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
13. 北川幹, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, ラムナン硫酸一架構橋ポリアクリル酸複合ゲルのイオン架構方法の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
14. 荻谷涼, 東根緋音, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 海藻由来多糖-架構橋ポリアクリル酸複合ゲルの架構剤の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表 (支部長賞受賞)
15. 鍵本開里, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, ダブレット発光を示す色素集積型蛍光ナノ粒子の蛍光特性評価, 2024 年 日本化学会中国四国支部岡山大会, 津島 (2024/11/16), ポスター発表
16. 黒川蒼依, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, 電子供与性置換基を有するスクアライン誘導体の長波長化, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
17. 佐藤仁希, 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, アミノ基を有するスクアライン色素の合成と細胞膜プローブへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
18. 新川昂汰, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型両親媒性ジブロックコポリマーの高分子ミセルへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
19. 西村琴海, 仁子陽輔, 渡辺 茂, 波多野慎悟, 海藻由来硫酸化多糖を用いたポリイオンコンプレックスハイドロゲルの作製, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
20. 水野千穂, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, 環状ケトンを導入した新規ピレン誘導体の合成, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表

21. 山本優花, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺 茂, 仁子陽輔, 第二近赤外光による二光子励起が可能な新規ピレン型ソルバトクロミック色素の開発, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表

Other Details (その他)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. 高分子学会中国四国支部幹事

[Committee Activity outside the cluster (全学委員)]

1. 教育研究評議会
2. 全学財務委員会
3. 人事委員会
4. 全学教員人事審議会
5. 全学教育機構会議
6. 学生・教育支援機構会議
7. 大学改革戦略本部会議
8. 情報セキュリティ委員会
9. 高知大学キャンパスマネジメント特別委員会
10. センター連絡調整会議
11. 設備整備計画検討委員会
12. 就職委員会
13. リカレント・リスキリング教育の充実 WG

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. センター連絡調整会議長
2. 希望創発センター長
3. 土佐さががけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース
実施委員会委員

Journal Publications (論文)

1. Song, J., Kou, L., Wang, Y., Ai, T., Li, W., Kaji Yoshi, K., Wattanapaphawong, P., Li, Y., Synthesis and electrochemical properties of hydrangea-like $(\text{NH}_4)_2\text{V}_4\text{O}_9/\text{V}_5\text{O}_{12}\cdot 6\text{H}_2\text{O}$ cathode for zinc-ion battery, *International Journal of Applied Ceramic Technology*, 21, 319–326 (2024).
2. Kou, L., Wang, Y., Song, J., Ai, T., Li, W., Wattanapaphawong, P., Kaji Yoshi, K., One-dimensional tunnel $\text{VO}_2(\text{B})$ cathode materials for high-performance aqueous zinc ion batteries: a mini review of recent advances and future perspectives, *Green Chemistry*, 26, 1709–1724 (2024).
3. Wattanapaphawong, P., Reubroycharoen, P., Samart, C., Kou, L., Song, J., Su, J., Kaji Yoshi, K., The steric effect of exfoliation agent for fabrication of layer niobium oxide nanosheet, *International Journal of Applied Ceramic Technology*, 21, 750–758 (2024).
4. Kou, L., Wang, Y., Song, J., Ai, T., Li, W., Wattanapaphawong, P., Kaji Yoshi, K., Ghotbi, M.-Y., Feng, Y., Critical insights into the recent advancements and future prospects of zinc ion battery electrolytes in aqueous systems, *Inorganic Chemistry Frontiers*, 11, 1949–1965 (2024).
5. Kou, L., Wang, Y., Song, J., Ai, T., Li, W., Ghotbi, M.-Y., Wattanapaphawong, P., Kaji Yoshi, K., Modulating electronic structure of self-supported nickel-vanadium layered double hydroxide to accelerate hydrogen evolution reaction, *Scripta Materialia*, 252, 116242 (2024).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Kou, L., Song, J., Ai, T., Kaji Yoshi, K., Critical Insights into the Recent Advancements and Future Prospects of Zinc Ion Battery Electrolytes in Aqueous Systems, The 10th International Symposium on Functional Materials, Sendai (2024/8/3-6).
2. Song, J., Kou, L., Ai, T., Li, W., Kaji Yoshi, K., Rice husk-derived SiOx@carbon nanocomposites as a high-performance bifunctional electrode for rechargeable batteries, The 10th International Symposium on Functional Materials, Sendai (2024/8/3-6).

Other Details (その他)

[Activity on International Exchange (国際交流活動)]

1. 共同研究, 陝西科技大学, 水電解電極材料およびイオン電池電極材料の合成と構造設計に関する研究.
2. 共同研究, タマサート大学, 華中科技大学, 金属酸化物ナノ材料の合成と応用に関する研究.

Journal Publications (論文)

1. Ruto, A.; Seki, H.; Osaki, K.; Kaneno, D.; **Hadano, S.**; Watanabe, S.; Niko, Y.* Synthesis of 1,3-Dibromopyrene as Precursor of 1-,3-,6-, and 8-Substituted Long-Axially Symmetric Pyrene Derivatives, *Chem. Eur. J.* **2024**, e202401152.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 側鎖液晶型両親媒性ブロックポリマーの液晶ブロックのランダム共重合の検討, 高知化学シンポジウム 2024. 高知 (2024/6/29), ポスター発表
2. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 高分子ミセルの構造と光褪色挙動の関係調査, 高知化学シンポジウム 2024. 高知 (2024/6/29), ポスター発表
3. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, スルホ基を有する蛍光ソルバトクロミックピレン誘導体の機能—構造に関する研究, 高知化学シンポジウム 2024. 高知 (2024/6/29), ポスター発表
4. 大崎嘉月, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, カチオン性蛍光色素の低褪色化に向けた三重項クエンチャー含有型対アニオンの開発, 高知化学シンポジウム 2024. 高知 (2024/6/29), ポスター発表
5. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, 皮膚組織の膜秩序性に応答する新規 D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 高知化学シンポジウム 2024. 高知 (2024/6/29), ポスター発表
6. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 色素の光褪色抑制に向けた酸素バリア性高分子ミセルの開発, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/3-5), ポスター発表
7. 大崎嘉月, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, Triplet Quencher-Tethered Counter-anions for Improving Photostability of Cationic Fluorescent Dyes-loaded Nanoparticles, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
8. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, Development of New Water-Soluble Pyrene-Based Push-Pull Dyes for In Vivo Skin Tissue Imaging Applications, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
9. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, 生体皮膚組織深部の膜秩序性を可視化する D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 第 34 回基礎有機化学討論会, 札幌 (2024/9/11), ポスター発表
10. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 側鎖液晶型ランダム共重合体を導入した両親媒性ブロック共重合体の合成, 第 73 回高分子討論会, 新潟 (2024/9/25-27),

ポスター発表

11. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 両親媒性ブロック共重合体薄膜における側鎖液晶型ランダム共重合体ブロックの効果, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
12. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 酸素バリア層を有する高分子ミセルの作製と機能評価, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
13. 北川幹, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, ラムナン硫酸—架橋ポリアクリル酸複合ゲルのイオン架橋方法の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
14. 荻谷涼, 東根緋音, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 海藻由来多糖—架橋ポリアクリル酸複合ゲルの架橋剤の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表 (**支部長賞受賞**)
15. 近藤温菜, 佐藤久子, **波多野慎悟**, 伊藤亮孝, 茶島悠汰, 高橋仁徳, 芥川智行, 中村貴義, 越智里香, 振動円二色性分光法によるキラル型超分子ヒドロゲルのキラリティ解析, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
16. 鍵本開里, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, ダブレット発光を示す色素集積型蛍光ナノ粒子の蛍光特性評価, 2024 年 日本化学会中国四国支部岡山大会, 津島 (2024/11/16), ポスター発表
17. 新川昂汰, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 側鎖液晶型両親媒性ジブロックコポリマーの高分子ミセルへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
18. 西村琴海, 仁子陽輔, 渡辺茂, **波多野慎悟**, 海藻由来硫酸化多糖を用いたポリイオンコンプレックスハイドロゲルの作製, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
19. 黒川蒼依, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, 電子供与性置換基を有するスクアライン誘導体の長波長化, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
20. 佐藤仁希, 大崎嘉月, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, アミノ基を有するスクアライン色素の合成と細胞膜プローブへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
21. 水野千穂, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, 環状ケトンを導入した新規ピレン誘導体の合成, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
22. 山本優花, 川上良介, 村上正基, 今村健志, **波多野慎悟**, 渡辺茂, 仁子陽輔, 第二近赤外光による二光子励起が可能な新規ピレン型ソルバトクロミック色素の開発, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 中国四国地区高分子若手研究会 運営委員

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 広報委員

MEXT (科研費)

1. バイオマスを高選択的にギ酸へと変換するシステム構築に向けた新規光触媒の開発 (代表: 今村和也), 基盤研究(C), 2023年度～2025年度, 1,040千円.

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

Journal Publications (論文)

1. Oto, T., Ikeuchi, K., Tanaka, K., Onda, A., Imamura, K., Photocatalytic hydrogenation of acetophenone over Pd-TiO₂ using saccharides as hydrogen sources, *Catal. Sci. Technol.*, 14, 2139-2145 (2024).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 松本佳澄, 今井咲友, 藤代 史, 恩田歩武, 今村和也, ローダミン B/ZrO₂ を可視光応答型光触媒として使用したアニリン酸化反応, 第 43 回固体・表面光化学討論会, 徳島 (2024/11/21).
2. 丸山琴未, 原 愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, Pt/BiVO₄ の熱・光触媒作用による 2-プロパノールからニトロベンゼンへの水素移動反応, 第 43 回固体・表面光化学討論会, 徳島 (2024/11/21).
3. 丸山琴未, 原 愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, バナジン酸ビスマス光触媒によるカルボニル基の還元反応, 2024 年日本化学会中四国支部大会 岡山大会, 岡山 (2024/11/16).
4. 丸山琴未, 原 愛実, 佐野凌平, 川原こはく, 恩田歩武, 今村和也, 金属担持バナジン酸ビスマスの熱・光触媒作用によるニトロベンゼンの還元反応, 2024 年日本化学会中四国支部大会 岡山大会, 岡山 (2024/11/16).
5. 田中滉将, 秦滉星, 田中淳皓, 古南 博, 恩田歩武, 今村和也, 酸化セリウム光触媒によるニトロベンゼンからアゾキシベンゼンへの可視光変換反応, 第 134 回触媒討論会, 名古屋 (2024/9/20).
6. 今村和也, 大音貴裕, 池内一真, 田中滉将, 恩田歩武, グルコースを水素源として使用したアセトフェノンから 1-フェニルエタノールへの光触媒的水素化反応, 2024 年光化学討論会, 福岡 (2024/9/3).
7. 野中結羽, 新納健司, 恩田歩武, 今村 和也, 芳香族ニトロ化合物光触媒における置換基の影響, 福岡 (2024/9/3).
8. 田中滉将, 大音貴裕, 恩田歩武, 今村和也, グルコースからギ酸メチルへの光触媒的変換反応, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/3).
9. 竹下菜々美, 澁谷信司, 萩原礼奈, 恩田さゆり, 今村和也, 恩田歩武, エタノール溶媒を用いたゼオライト触媒によるセルロースからフルフラール類への選択的変換, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/3).
10. 國定健人・清水優花・平岡雅規・今村和也・恩田歩武, 固体酸触媒を用いた海藻多糖ウルバンの低分子化, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/3).
11. 深田幹樹, 堀江成樹, 今村和也, 小河脩平, 恩田歩武, 白金系触媒を用いたフルフラールからの C3 炭化水素合成, 第 18 回触媒道場, 松山 (2024/9/3).
12. 松本佳澄, 今井咲友, 藤代 史, 恩田歩武, 今村和也, 食用色素を使った色素増感型光触媒の熱重量分析, 第

18 回触媒道場, 松山 (2024/9/3).

13. 田中滉将, 恩田歩武, 今村和也, アルコールを水素源とするニトロベンゼンからアニリンへの光触媒的水素化反応, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29).
14. 松本佳澄, 今井咲友, 恩田歩武, 今村和也, 食用色素を使った色素増感型光触媒の開発, 高知化学シンポジウム 2024, 高知 (2024/6/29).

■ Niko Yosuke 仁子 陽輔

MEXT (科研費)

1. 革新的色素集積型ナノプローブの創成による生体内現象のリアルタイム観察の実現(代表:仁子陽輔), 基盤研究B, 令和5年度~令和7年度, 4,200千円.
2. 新規脂質染色と組織透明化を組み合わせた断端がんの3次元病理診断法の開発(代表:川上良介), 基盤研究C, 令和4年度~令和6年度, 100千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 普及型コンパクト多光子顕微鏡ユニットの開発(代表:仁子陽輔), JST, A-STEP 産学共同(本格型), 13,000千円.

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 奨励研究助成金, 中谷医工計測技術振興財団, 1,860千円

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 蛍光ソルバトクロミック色素を介した化学・医学・薬理学の複合的研究(代表:仁子陽輔), ユニットのボトムアップ研究プロジェクト, 800千円.

Journal Publications (論文)

*: Corresponding author.

2. Ruto, A.; Seki, H.; Osaki, K.; Kaneno, D.; Hadano, S.; Watanabe, S.; Niko, Y.* Synthesis of 1,3-Dibromopyrene as Precursor of 1-,3-,6-, and 8-Substituted Long-Axially Symmetric Pyrene Derivatives, *Chem. Eur. J.* **2024**, e202401152.
3. Yatsuzuka, K.; Kawakami, R.; Niko, Y.; Tsuda, T.; Kameda, K.; Kohri, N.; Yoshida, S.; Shiraishi, K.; Muto, J.; Mori, H.; Fujisawa, Y.; Imamura, T.; Murakami, M.* A fluorescence imaging technique suggests that sweat leakage in the epidermis contributes to the pathomechanism of palmoplantar pustulosis, *Sci. Rep.* **2024**, *14*, 378.

Reports & Others (報告書)

1. 仁子陽輔, 2 光子励起顕微鏡による生体深部観察に向けた高輝度蛍光ナノプローブの開発, 生体の科学(雑誌), 第75巻5号, 特集:「学術研究支援の最先端」

Patents (特許)

1. 発明の名称:化合物、蛍光色素剤、キット、細胞の検出方法、及び、染色用材料, 出願日:令和5年3月24日, 出願番号:特願2023-47897, 出願人:国立大学法人高知大学, 国立大学法人愛媛大学, 発明者:仁子陽輔, 戸内由希, 橋本拓弥, 村上正基, 川上良介, 津田照子, 今村健志. → JSTの国際権利化支援に採択(2024/2/2)

PCT 出願, 国際出願日:令和6年3月25日, 国際出願番号: PCT/JP2024/011617.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

(招待講演)

1. 仁子陽輔, 生体イメージング用環境応答性色素の開発, +1 Chemistry Match, 高知 (2024/9/7)
2. 仁子陽輔, 生体イメージング用高輝度蛍光プローブの開発, 第78回産学連携化学フォーラム, 高知 (2024/10/5)

(その他)

1. 仁子陽輔, 蛍光ソルバトクロミック色素を活用した生体蛍光イメージング, 第32回次世代医工学研究会, 津島 (2024/6/21), 口頭発表
2. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, スルホ基を有する蛍光ソルバトクロミックピレン誘導体の機能一構造に関する研究, 高知化学シンポジウム2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
3. 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, カチオン性蛍光色素の低褪色化に向けた三重項クエンチャー含有型対アニオンの開発, 高知化学シンポジウム2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
4. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, 皮膚組織の膜秩序性に応答する新規 D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 高知化学シンポジウム2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
5. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型両親媒性ブロックポリマーの液晶ブロックのランダム共重合の検討, 高知化学シンポジウム2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
6. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 高分子ミセルの構造と光褪色挙動の関係調査, 高知化学シンポジウム2024, 高知 (2024/6/29), ポスター発表
7. 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, Triplet Quencher-Tethered Counter-anions for Improving Photostability of Cationic Fluorescent Dyes-loaded Nanoparticles, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
8. 山本理子, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, Development of New Water-Soluble Pyrene-Based Push-Pull Dyes for In Vivo Skin Tissue Imaging Applications, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/2), ポスター発表
9. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 色素の光褪色抑制に向けた酸素バリア性高分子ミセルの開発, 2024 年 光化学討論会, 福岡 (2024/9/3-5), ポスター発表
10. 橋本拓弥, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, 生体皮膚組織深部の膜秩序性を可視化する D- π -A 型ピレン誘導体の合成, 第34回基礎有機化学討論会, 札幌 (2024/9/11), ポスター発表

11. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型ランダム共重合体を導入した両親媒性ブロック共重合体の合成, 第 73 回高分子討論会, 新潟 (2024/9/25-27), ポスター発表
12. 仁子陽輔, 蛍光ソルバトクロミック色素を介した化学・医学・薬理学の複合的研究, 高知大学創立 75 周年研究成果報告シンポジウム, 高知 (2024/9/28), ポスター発表
13. 上原真人, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 両親媒性ブロック共重合体薄膜における側鎖液晶型ランダム共重合体ブロックの効果, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
14. 鶴井翔太, 牛丸竜輝, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 酸素バリア層を有する高分子ミセルの作製と機能評価, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
15. 北川幹, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, ラムナン硫酸-架橋ポリアクリル酸複合ゲルのイオン架橋方法の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表
16. 荻谷涼, 東根緋音, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 海藻由来多糖-架橋ポリアクリル酸複合ゲルの架橋剤の検討, 第 39 回中国四国地区高分子若手研究会, 鳥取 (2024/11/12-13), ポスター発表 (支部長賞受賞)
17. 鍵本開里, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, ダブレット発光を示す色素集積型蛍光ナノ粒子の蛍光特性評価, 2024 年日本化学会中国四国支部岡山大会, 津島 (2024/11/16), ポスター発表
18. 黒川蒼依, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, 電子供与性置換基を有するスクアライン誘導体の長波長化, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
19. 佐藤仁希, 大崎嘉月, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, アミノ基を有するスクアライン色素の合成と細胞膜プローブへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
20. 水野千穂, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, 環状ケトンを導入した新規ピレン誘導体の合成, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
21. 山本優花, 川上良介, 村上正基, 今村健志, 波多野慎悟, 渡辺茂, 仁子陽輔, 第二近赤外光による二光子励起が可能な新規ピレン型ソルバトクロミック色素の開発, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
22. 新川昂汰, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 側鎖液晶型両親媒性ジブロックポリマーの高分子ミセルへの応用, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表
23. 西村琴海, 仁子陽輔, 渡辺茂, 波多野慎悟, 海藻由来硫酸化多糖を用いたポリイオンコンプレックスハイドロゲルの作製, 高知化学会第 38 回研究会, 高知 (2024/12/21), ポスター発表

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 高知化学会：事務幹事
2. 日本化学会低次元系光機能研究会：運営委員
3. 次世代医工学研究会：第 8 期幹事

MEXT (科研費)

1. 分子の集合状態に依存して発色特性が変化する新規センシング材料の開発 (代表:越智里香), 基盤研究(C), 令和6年度~令和8年度, 1,200千円 (直接経費).

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Joint Research (共同研究)]

1. 環境負荷と生体毒性の低減を指向した軽金属配位高分子の開発 (代表:越智里香, 共同研究者:中村貴義, 芥川智行ほか), 2024年度 物質・デバイス領域共同研究拠点 展開共同研究, 令和6年度, 350千円.
2. 金属イオン応答性部位を有するアゾベンゼン誘導体の開発 (代表:越智里香, 共同研究者:玉置信之ほか), 2024年度 物質・デバイス領域共同研究拠点 基盤共同研究, 令和6年度, 150千円.
3. 集合状態変化に依存して色調変化を示す糖脂質型超分子ヒドロゲルの開発~糖残基の立体異性とゲル形成能との関係性の精査~ (代表:越智里香, 共同研究者:池田将ほか), 2024年度糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点「支援型糖鎖共同研究(加速型)」, 令和6年度, 400千円.

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 高知に豊富に存在する天然物「糖質」を利用した機能性超分子材料の開発, 令和6年度研究課題等に関する助成金, 一般財団法人高銀地域経済振興財団, 令和6年度, 200千円 (間接経費を含む).

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. A 15-crown-5-ether-based supramolecular hydrogel with selection ability for potassium cations *via* gelation and colour change, 複合領域科学部門研究成果発表促進補助費(論文校閲補助), 令和6年度, 60千円.
2. Stereoisomerism-Dependent Gelation and Crystal Structures of Glycosylated N-Methylbromomaleimide-Based Supramolecular Hydrogels, オープンアクセス加速化事業(論文掲載料補助), 令和6年度, 594,135円.

Journal Publications (論文)

1. Chabatake, Y., Tanigawa, T., Hirayama, Y., Taniguchi, R., Ito, A., Takahashi, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., Izumi, M., **Ochi, R.***, A 15-crown-5-ether-based supramolecular hydrogel with selection ability for potassium cations *via* gelation and colour change, *Soft Matter*, 20(41), 8170-8173 (2024). *Selected as Outside Back Cover.*

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Yamashita, K., Shintani, Y., Ikeda, M., Ochi, R. Development of glycolipid-type supramolecular

hydrogels showing color changes depending on assembly states, Glyco-core 2024, Nagoya University (2024/7/16).

Domestic:

1. **越智里香**, 刺激応答性超分子ヒドロゲルの開発ならびに VCD 法によるキラリティ測定, 2023 年度ダイバーシティ推進研究交流発表会, オンライン開催 (2024/3/16).
2. 谷川智樹, 石田雅司, 伊藤亮孝, 仁子陽輔, 和泉雅之, **越智里香**, 過酸化水素検出を可能とするボロン酸含有 OFF/ON 型蛍光分子プローブの開発, 日本化学会第 104 春季年会, 日本大学船橋キャンパス (2024/3/18-21).
3. 平山湧人, 林潤澤, 玉置信之, 伊藤亮孝, Rico Tabor, 和泉雅之, **越智里香**, クラウンエーテル構造を有するアゾベンゼン誘導体の熱異性化挙動ならびに金属イオン応答性, 日本化学会第 104 春季年会, 日本大学船橋キャンパス (2024/3/18-21).
4. 近藤温菜, 和泉雅之, **越智里香**, アルカリ金属イオンに応答して色調変化を示す超分子比色センサの開発, 第 15 回 中国四国地区錯体化学研究会 兼 錯体化学若手の会中国・四国支部 第 7 回勉強会, 島根大学松江キャンパス (2024/5/18). **ポスター発表賞受賞**
5. 平山湧人, 伊藤亮孝, **越智里香**, 2,3-ジクロロ-N-(6-カルボキシヘキシル)マレイミドから合成される蛍光色素の物性評価, 第 21 回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム, 京都大学吉田キャンパス (2024/6/1-2).
6. 近藤温菜, 佐藤久子, 茶島悠汰, 高橋仁徳, 芥川智行, 中村貴義, 和泉雅之, **越智里香**, カリウムイオンに反応して色調変化を示すキラル型超分子ヒドロゲルのキラリティ測定, 第 21 回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム, 京都大学吉田キャンパス (2024/6/1-2).
7. 山下琴代, 石田雅司, 伊藤亮孝, 新谷勇喜, 池田将, 和泉雅之, **越智里香**, 糖残基の立体異性が色調変化型超分子ヒドロゲルの集合能に与える影響, 第 21 回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム, 京都大学吉田キャンパス (2024/6/1-2).
8. 近藤温菜, 佐藤久子, 茶島悠汰, 高橋仁徳, 芥川智行, 中村貴義, 和泉雅之, **越智里香**, アルカリ金属イオンに反応して色調変化を示すキラル型超分子ヒドロゲルの構造拡張と物性評価, 高知化学シンポジウム 2024, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/6/29). **優秀ポスター発表賞受賞**
9. 山下琴代, 石田雅司, 伊藤亮孝, 和泉雅之, **越智里香**, 色調変化型超分子ヒドロゲルにおける発色変化メカニズムの考察, 高知化学シンポジウム 2024, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/6/29). **優秀ポスター発表賞受賞**
10. 高原久典, 平山湧人, 和泉雅之, **越智里香**, 複素環を導入したハロゲン化マレイミド色素骨格の合成検討, 高知化学シンポジウム 2024, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/6/29).
11. **[依頼講演]: 越智里香**, 集合状態に依存して発色変化を示す超分子材料の開発, 分子夾雑に挑む化学@福岡, 九州大学西新プラザ (2024/8/27-28).
12. **越智里香**, 山下琴代, 堤尚輝, 大住僚也, 和泉雅之, 糖残基を構成成分とする機能性超分子材料の開発, 第 43 回日本糖質学会年会, 慶應義塾大学日吉キャンパス (2024/9/12-14).
13. 山下琴代, 石田雅司, 伊藤亮孝, 和泉雅之, **越智里香**, 色調変化型糖残基含有超分子ヒドロゲルの構造拡張と発色変化メカニズムの考察, 第 43 回日本糖質学会年会, 慶應義塾大学日吉キャンパス (2024/9/12-14).
14. 山下琴代, 石田雅司, 伊藤亮孝, 和泉雅之, **越智里香**, 糖残基含有超分子ヒドロゲルのゲル形成能と発色変化メカニズムの考察, 第 8 回 FCCA シンポジウム・グライコサイエンス若手フォーラム 2024, 慶應義塾大学矢上キャン

- ス (2024/9/15).
15. 近藤温菜, 佐藤久子, 波多野慎悟, 伊藤亮孝, 茶島悠汰, 高橋仁徳, 芥川智行, 中村貴義, **越智里香**, 振動円二色性分光法によるキラル型超分子ヒドロゲルのキラリティ解析, 第39回中国四国地区高分子若手研究会, とりぎん文化会館 (2024/11/12-13).
 16. 絵馬万莉菜, 榊原洋子, 高下朋子, 竹下碧, 坂本海斗, 竹下圭, 石井知彦, 和泉雅之, **越智里香**, 希少糖を用いた金属錯体の合成検討, 2024年日本化学会中国四国支部大会, 岡山大学津島キャンパス(2024/11/16-17).
 17. 太田みずき, 谷川智樹, 和泉雅之, **越智里香**, 細胞内の過酸化水素検出を指向した OFF/ON 型蛍光センサの開発, 2024年日本化学会中国四国支部大会, 岡山大学津島キャンパス(2024/11/16-17).
 18. 高原久典, 平山湧人, 和泉雅之, **越智里香**, 複素環を導入したハロゲン化マレイミド色素骨格の合成, 2024年日本化学会中国四国支部大会, 岡山大学津島キャンパス (2024/11/16-17).
 19. 森田凌佑, 倉脇裕也, 福田陸, 和泉雅之, **越智里香**, 芳香族アミン検出を志向した比色センサの開発, 2024年日本化学会中国四国支部大会, 岡山大学津島キャンパス (2024/11/16-17).
 20. **[招待講演]: 越智里香**, カリウムイオンに応答してゲル形成と色調変化を示す超分子ヒドロゲル, 第20回バイオオプティクス研究会, 津山工業高等専門学校 (2024/12/13-14).
 21. 絵馬万莉菜, 榊原洋子, 高下朋子, 竹下碧, 坂本海斗, 竹下圭, 石井知彦, 和泉雅之, **越智里香**, 希少糖を用いたゲル状金属錯体の合成検討, 高知化学会第38回研究会, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/12/21).
 22. 太田みずき, 谷川智樹, 和泉雅之, **越智里香**, 細胞内の過酸化水素検出を指向した turn-ON 型蛍光センサの開発, 高知化学会第38回研究会, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/12/21).
 23. 高原久典, 平山湧人, 和泉雅之, **越智里香**, 複素環を導入したハロゲン化マレイミド色素骨格の開発, 高知化学会第38回研究会, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/12/21).
 24. 森田凌佑, 倉脇裕也, 福田陸, 和泉雅之, **越智里香**, ハロゲン化マレイミド誘導体を利用したバイオチオールセンサの開発, 高知化学会第38回研究会, 高知工科大学永国寺キャンパス (2024/12/21).

Other Details (その他)

[Host of congress (学会・シンポジウムなどの開催)]

1. 第8回 FCCA シンポジウム・グライコサイエンス若手フォーラム 2024, 慶應義塾大学矢上キャンパス (2024/9/15) [運営代表, 全国大会, 約 60 名]

[Outside Comittee (学外委員)]

1. グライコサイエンス若手の会, 世話人 (2019/3-).
2. 日本糖質学会, 評議員 (2021/7-).
3. 糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点, コラボレイティブフェロー (2022/4-).

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 学術研究報告編集委員
2. 特別教育プロジェクト委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. 越智里香, 分子が集まることでできる“超分子”って何?, 模擬授業, 徳島県立鳴門高等学校 (2024/6/10).
2. 越智里香, 高知大学理工学部への紹介, 模擬授業 (進路相談会), 愛媛大学附属高等学校 (2024/10/24).